

2022年6月20日

札幌麻生脳神経外科病院に通院中の患者さんへ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録などをまとめることによって行います。このような研究は、厚生労働省の「臨床研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 脊椎脊髄疾患に対する外科治療において硬膜閉鎖を行った症例の検討

[研究機関] 札幌麻生脳神経外科病院

[研究責任者] 笹森 徹

[研究の目的] 脊椎脊髄疾患に対する外科治療では、病気の種類や手術の状況により、硬膜閉鎖を行うことがあります。硬膜閉鎖が適切に行われない場合、髄液漏という合併症を生じる可能性があります。術後の髄液漏の有無を調査することで、当院において、硬膜閉鎖が適切に実施されているかを検討します。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

2017年1月以降に、当院で脊椎脊髄疾患に対し外科治療を行い、術中に硬膜閉鎖を行った患者さん

●利用するカルテ情報

診断名(原疾患)、年齢、性別、神経学的所見、画像検査結果、手術記録、病理診断結果、臨床経過

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

[問い合わせ先]

北海道札幌市東区北 22 条東 1 丁目 1-3

札幌麻生脳神経外科病院 担当医師 笹森 徹

電話 011-731-2321 FAX 011-731-0559